

令和 2 年 度 着 手

坂井西部地区 客土事業 変更計画概要書

〔 県 営 経 営 体 育 成 基 盤 整 備 事 業 （ 土 地 総 ） 〕

（ 令和 7 年 度 第 1 回 変 更 ）

事 業 主 体 福 井 県

令和2年度着手 県営土地改良事業 坂井西部地区（客土（経営体育成基盤整備（土地総））事業）

変 更 理 由 書

I. 変更の内容

1. 事業施工に係る地域の変更

（1）地積

（単位：ha）

市町村名／地目		田	畑	計
（ 坂井市：坂井町下兵庫	変更前	11.6	—	11.6
	変更後	11.6	—	11.6
	増・減	—	—	—

2. 主要工事計画の変更

（1）計画受益面積

（単位：ha）

項 目		田	畑	その他	計
客土	変更前	11.6	—	—	11.6
	変更後	11.6	—	—	11.6
増・減		—	—	—	—

（2）事業費

（単位：千円）

区 分	変更前	変更後	増・減	備 考
客土工	46,000	100,000	54,000	
測量試験費	900	900	—	
用地及び補償費	—	—	—	
総事業費	46,900	100,900	54,000	

変更前 令和元年度価格
変更後 令和7年度価格

内 訳

自 然 増

工 法 変 更

事業量変更

54,000

計

54,000

（3）工事予定期間

（ 〃 ）

着 工 令和 2 年度

（ 9 ）

完了予定 令和 10 年度

II. 計画変更を必要とする理由

1. 主要工事計画の変更

客土

(単位：千円)

工法変更

- ・ 現地詳細調査の結果、事業計画における現況田面高よりも田面高が低い場所を確認したことから、必要田面高を確保するため、現地搬入土量を増工したい。また、当初計画は他事業の建設発生土を受け入れる計画であったが、工事間調整が困難であったため、福井港湾の浚渫砂の積込・運搬を増工したい。

N=1.0式

54,000

合計

54,000

2. 事業費変更の理由

項 目	増 減
自 然 増	－ 千円
工 法 変 更	54,000 千円
事業量変更	－ 千円
計	54,000 千円

第1章 目 的

変 更 な し

本地区の排水は基幹農道を横断して木部東排水路を經由し、兵庫川左岸の木部東水閘から兵庫川に排水されている。このため、兵庫川の外水位が高い場合には、周辺地域に比べて田面が低い本地域は十分に排水されない状況にあり、低い地下水位を好む畑作物の栽培に支障を来している状況である。

よって、本事業により基盤嵩上を目的とする客土を行い、高収益作物の導入など農地の高度利用の実現を図るとともに、土地利用率の高い効率的な水田農業の確立を実現させる。

第2章 地域の所在及び現況

第1節 地 域

変 更 な し

坂井市 ： 坂井町下兵庫

地係

第2節 地 積

事業名 地 目 市町村名	客 土						備 考
	田 (ha)	畑 (ha)	樹 園 地 (ha)	非農用地 (ha)	道水路敷 (ha)	計 (ha)	
(") 坂 井 市	(") 11.6	(") —	(") —	(") —	(") —	(") 11.6	
計	(") 11.6	(") —	(") —	(") —	(") —	(") 11.6	

第3節 現 況

1. 気 象

変 更 な し

観 測 所 名	三 国 観 測 所	か ん が い 期	非 か ん が い 期	計 また は 平 均 (年 間)
観 測 期 間	H 18 ～ H 27	5 月 ～ 9 月	1 0 月 ～ 4 月	
平 均 気 温 (℃)		22.2	8.5	14.2
平 均 降 水 量 (mm)		910	1,236	2,146
平 均 降 水 日 数 (日)		51	119	170
根 雪 期 間		1 2 月 ～ 3 月		日 間
無 霜 期 間		4 月 ～ 1 1 月		日 間
最 多 風 向	SSE (5 ～ 8 月)	最 大 風 速		25.8 m / s

２．地 形 地 質

変 更 な し

本地区は地盤標高1.5～2.5mの低い平野地域、主傾斜1／5 0 0 0の九頭竜川沿いに広がる農地で、地質は沖積世非固結堆積物からなる。

３．水 利 状 況

変 更 な し

地区の排水は兵庫川もしくは九頭竜川に排水されている。現況の排水路はアーム柵水路であり、土砂吸出しによる維持管理費の増大が生じている状況である。

４．営 農 状 況

変 更 な し

本地区は水稻主体の営農を行っており、転作作物として、大麦、大豆、そばを作付けしている。また近年は、高収益作物であるネギ、ブロッコリー等を作付けしている状況である。

また、地区の農業は、生産法人3組織、集落営農5組織、認定農業者7名および個別農家で営農しており、農地集積率は87.3%と高い集積率の地区であるが、土地改良施設の老朽化が著しく、維持管理コストおよび労力の増大、排水管理労力の増大により農業経営を圧迫している状況である。

よって、本事業を契機に将来的には、生産法人3組織、集落営農5組織を中心にさらに農地集積を促進していきたい。

５．地域環境の概略

変 更 な し

本地区には、キタノメダカ、オオタニシ、イシガイ、イチョウウキゴケ、ウスゲチョウジタデ、ミズマツバ等の希少な動植物が確認されている。また、西に県下最大の一級河川九頭竜川、東に一級河川兵庫川の流域に広がる農地であり、豊かな自然環境を形成している。

第3章 基本計画

第1節 計画の要旨

1. 要 旨

変 更 な し

本事業で客土を行うことにより、土地利用率の高い効率的な水田農業の確立を図る。また、高付加価値の水田園芸を振興し、高収益作物の作付拡大を図ることで、農業の活性化及び効率的で安定した農業経営を確立させる。

2. 事業別面積

土地利用区分 換地区	客 土					計 (ha)	備 考
	旧 田 (ha)	新規田 (ha)	輪換耕地 (ha)	普通畑 (ha)			
(") 坂 井 市	(") —	(") —	(") 11.6	(") —		(") 11.6	
計	(") —	(") —	(") 11.6	(") —		(") 11.6	

第2節 営 農 計 画

変 更 な し

品質・価格の競争時代に対応するため、営農の合理化及び生産性の向上を図るとともに、担い手への農地集積の加速化、農業経営の合理化を図り、本地域の農業競争力の強化を目指す。

第3節 環境との調和への配慮

変 更 な し

施工の際は、建設機械は排出ガス対策型建設機械、低騒音低振動型建設機械の使用に努め、大気環境の汚染及び騒音・振動を防止する他、ドライ施工を心がけ、濁水の発生軽減に努める。また、施工による建設廃材の発生を可能な限り抑制又は、リサイクルする他、野生生物への配慮として、原則、地区内発生土を利用し多様な緑地等の保全に努める。

第4節 計画基本事項

1. 客土事業

ア) 客土計画

区 分 …… 排水不良解消

計画客土厚 …… $t = \frac{11}{16} \text{ cm}$

第4章 工事又は管理の要領

第1節 工事の内容

1. 客土事業

ア) 客土工 $A = \frac{11.6}{11.6} \text{ ha}$ 客土 $V = \frac{12,870}{18,800} \text{ m}^3$

第2節 予定工期

(〃) (令和 9 年)
令和 2 年 ～ 令和 10 年

第3節 管理の要領

変更なし

本事業により造成された施設は、地元受益者が管理する。

第5章 換地計画の要領
第1節 換地計画樹立の必要性

変 更 な し
該 当 な し

第2節 換地計画樹立の基本方針
1. 従前の土地の地積の基準

変 更 な し
該 当 な し

2. 農用地集団化の方法

変 更 な し
該 当 な し

区 分 換地区	地 帯 別 グ ル ー プ 別 団 地 の 設 定	個 人 別 換 地 の 方 法		
		位 置 選 択	1 戸 当 た り 目 標 団 地 数	区 画 畦 畔 の 取 り 扱 い

3. 非農用地の換地方針

変 更 な し
該 当 な し

4. 清 算 の 方 法

変 更 な し
該 当 な し

変 更 な し
該 当 な し
単位:ha

区 分 用 途	機 能 交 換 に 係 る 土 地				一 般	合 計
	国 有 地	県 有 地	市町村有地	計	国 有 地	
計						

変更なし
該当なし

第6章 費用の概算

(令和元年度)
令和7年度価格(千円)

工 区	事 業 費	事 務 費	総 事 業 費	備 考
全 工 区	(46,900) 100,900	—	(46,900) 100,900	
計	(46,900) 100,900	—	(46,900) 100,900	

第7章 効 用

(令和元年度)
令和7年度価格(千円)

区 分	年 総 効 果 (便 益) 額	年 増 加 農 業 所 得 額	備 考
食料の安定供給の確保 に 関 する 効 果	(2,760) 3,809	(2,911) 4,067	
作 物 生 産 効 果	(133) 136	(284) 394	
営農経費節減効果	(2,627) 3,673	(2,627) 3,673	
	(") —	(") —	
農 業 の 持 続 的 発 展 に 関 する 効 果	(") —	(") —	
	(") —	(") —	
多 面 的 機 能 の 発 揮 に 関 する 効 果	(") —	(") —	
	(") —	(") —	
そ の 他 効 果	(49) 72	(") —	
国産農産物安定供給効果	(49) 72	—	
計	(2,809) 3,881	(2,911) 4,067	(1.35) 総費用総便益比： 1.00 (7.8) 総所得償還率： 18.8 % (6.5) 増加所得償還率： 10.0 %

第8章 他の事業との関連

該 当 事 項 な し

変 更 な し

第9章 計画概要図

別 添 図 面 参 照

事業の負担区分の予定及び地元負担の予定基準

1 事業費の負担区分の予定

1) 総事業費 (46,900) (46,900)
100,900 千円也 [事業費 100,900]

(")
千円也 [事務費 -]

2) 負担区分

(千円)

区 分		補 助 率	金 額	計
国 庫 補 助	事 業 費	(") 50.00 %	(2 3, 4 5 0) 5 0, 4 5 0	(2 3, 4 5 0) 5 0, 4 5 0
	事 務 費	(") — %	(")	
県 費	事 業 費	(") 30.00 %	(1 4, 0 7 0) 3 0, 2 7 0	(1 4, 0 7 0) 3 0, 2 7 0
	事 務 費	(") — %	(") —	
分 担 金	坂 井 市	事 業 費	(") 10.00 %	(4, 6 9 0) 1 0, 0 9 0
		事 務 費	(") — %	
		事 業 費	(") — %	(") —
		事 務 費	(") — %	
	地 元	事 業 費	(") 10.00 %	(4, 6 9 0) 1 0, 0 9 0
		事 務 費	(") — %	
計				(4 6, 9 0 0) 1 0 0, 9 0 0

2 地元負担の予定基準

該 当 事 項 な し

変 更 な し

3 負担団体

坂 井 市

坂 井 土 地 改 良 区

変 更 な し

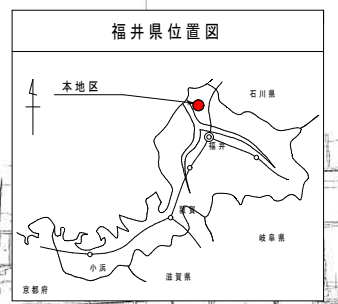
一 定 地 域 調 書
(変更なし)

坂井西部地区

– 10 –

県営土地改良事業 坂井西部地区（客土（経営体育成基盤整備（土地総））事業

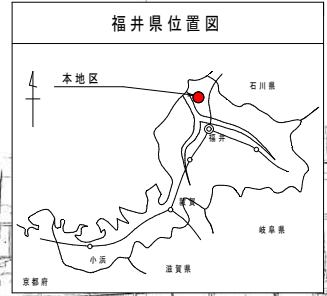
計画平面図（R7 第1回変更前）



凡 例		
色 別	名 称	事業量
	本地区 受益	田 11.6 ha
	計 画	客 土 11.6 ha

県営土地改良事業 坂井西部地区（客土（経営体育成基盤整備（土地総））事業

計画平面図（R7 第1回変更後）

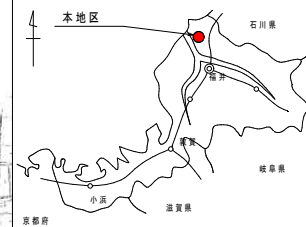


凡 例		
色 別	名 称	事業量
	本地区 受益	11.6 ha
	計 画 客 土	11.6 ha

県営土地改良事業 坂井西部地区（客土（経営体育成基盤整備（土地総））事業

変更説明図（R 7 第1回変更）

福井県位置図



S=1:5000
0 100 200 300m



凡 例	
記 号	区 分
	受益（増）
	受益（減）
	受益（変更なし）

変更理由凡例	
事 変 増	
事 変 減	
工 法 変 更	

【工法変更】
・現地詳細調査の結果、事業計画における現況田面高よりも田面高が低い低地を確認したことから、必要田面高を確保するため、現地搬入土量を増工したい。また、当初計画は他事業の建設客土を受け入れる計画であったが、工事間調整が困難であったため、福井港の浚渫砂の積込・運搬を増工したい。

凡 例		
色 別	名 称	事業量
	本地区 受 益	田 11.6 ha
	計 画	客 土 11.6 ha